

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	太幡 直也 (たばた なおや)	所属	愛知学院大学 総合政策学部
研究会等名称	公益社団法人日本心理学会 欺瞞的コミュニケーション研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 会員 5名 (うち認定心理士1名) 非会員 14名 (うち認定心理士1名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 本研究会は、欺瞞や隠蔽など、欺瞞的コミュニケーションに関する研究に関心のある研究者が、研究発表、議論を行うことを目的として、2011年9月に発足した。本年度は以下の研究集会を実施した。なお、これまでの活動内容の詳細は、研究会のホームページ (http://drt.secret.jp/index.html) に掲載した。</p> <p>< 欺瞞的コミュニケーション研究会 第16回研究集会 > 日時：2019年3月3日(日) 場所：法政大学市ヶ谷キャンパス 共催：法政大学社会診療学研究室(熊谷ゼミ)</p> <p><u>講演</u> 福田 実奈 先生(同志社大学) 「嗜好品がもたらす効果—嘘をつくときつかないとき—」</p> <p>福田先生から、カフェインレスコーヒーとノンアルコールビールの効果を検討した研究をご報告いただいた。その研究成果について、社会、認知、知覚、生理など、心理学の多岐の分野にわたる研究者が、教示の種類(欺きの有無)の観点などから議論を行った。</p> <p><u>会員報告</u> 大塚 拓朗 先生(兵庫県警察本部刑事部科学捜査研究所/関西学院大学大学院文学研究科) 「隠匿情報検査の弁別的反応と懸念的被透視感の関係」</p> <p>大塚先生から、隠匿情報検査における弁別的反応と懸念的被透視感の関係を検討した実験研究についてご報告いただいた。懸念的被透視感を高める手続きなどについて議論が行われた。 その他1件の会員報告があった。</p> <p>< 将来計画 > 来年度も引き続き、公開研究集会を開催する予定である。また、研究集会時に会員有志で、心理学ミュージアムに欺瞞的コミュニケーションに関する作品を制作する計画が話し合われた。次年度は、研究会の会員で作品の製作を検討する予定である。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>		

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
欺瞞的コミュニケーション研究会				
研究集会開催日： 2019年 3月 3日 (水)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	大塚 拓朗	兵庫県警察本部科学捜査研究所	○	
2	菊地 史倫	鉄道総研	○	○
3	熊谷 智博	法政大学キャリアデザイン学部	○	
4	武田 美亜	青山学院女子短期大学	○	
5	佐藤 拓	明星大学心理学部	○	
6	福田 実奈	同志社大学		
7	坂東 英輔	埼玉県警察本部科学捜査研究所		
8	石黒 格	日本女子大学		
9	滝口 雄太	東洋大学大学院		
10	鳥山 理恵	東京大学		
11	田口 恵也	名古屋大学大学院		
12	小笠原 早苗	名古屋大学大学院		
13	小沢 哲史	和洋女子大学		○
14	小野 洋平	駒澤大学		
15	石川 幹人	明治大学コミュニケーション学部		
16	作田 由衣子	実践女子大学		
17	黒川 優美子	神戸学院大学大学院		
18	和島 弘晁	新潟大学教育学部		
19	渡部 綾一	横浜市立大学		
20				
21				
22				
23				
24				
25				

(様式5)

2019年 3月 22日

日本心理学会研究会2018年度会計報告書

研究会名称 欺瞞的コミュニケーション研究会

研究会番号 研18021

助成金額 ¥30,000

年月日	項目	金額
2019年3月3日	講師交通費（京都～飯田橋 往復）	¥25,968
2019年3月22日	返金（日本心理学会）	¥4,032

支出合計 ¥30,000